※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	日本史探究（実教出版）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）　「日本史重要史料集」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

原始・古代から現代に至る歴史の展開を政治史・外交史を中心に幅広い見方で大きく把握させる。各時代の政治・外交の特色や時代の変遷に関わる考察を通じて、その特色をつかみ、日本史を学習するうえでの基礎力をつける。

２　学習の到達目標

・歴史を理解するための基本的な知識を身につける。基本的な知識とは、歴史に関する知識のみならず、それに関わる地理分野・公民分野に於ける知識も必要である。
・資料（史料・図・表・グラフなど）を読み取り、考察する力を身につける。
・知識や資料など複数の根拠をもとに、歴史的に物事を理解し、国際的な視野に立って客観的に判断する力を養う。
・自らの学びをもとに主体的に考察し、総合的に判断して、過去から現代社会の諸課題に気づき、よりよい社会の構築に向けて貢献できる資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・古代から中世の歴史を理解するための歴史的・地理的・公民的な基本的な知識、および一般常識を、教科書をはじめとする教材を通じて学び、身につけている。 ・歴史の根拠となる資料について知識を深め、これを読み説く技能をもっている。	・歴史的なものの見方、考え方にもとづいて、複数の資料や知識を比較・検討して、現代社会の諸課題について考察を深めることができた。 ・考察の結果を、国際的な視野にたって合理的に判断し、また、その過程を記録し、様々な手法を用いて、わかりやすく表現した。	・１年生の歴史総合での学習の成果を生かし、主体的に理解を深めるよう努力している。 ・古代から中世の歴史に関して、興味・関心を持ったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。 ・自らの学習を振り返り、学習を改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　第1章　日本文化のあけぼの	1　日本列島最古の文化 2　縄文文化の社会と文化 3　弥生時代の社会と文化	a：日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 b：黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 c：日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
	第1章　第2章　ヤマト政権の成立と古墳文化	1　小国の分立と邪馬台国 2　古墳の出現とヤマト政権の成立 3　ヤマト政権の展開と統治の進展 4　古墳時代の生活と文化	a：国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b：小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
	第1章　第3章　律令国家の形成	1　古代国家の形成 2　飛鳥文化・白鳳文化 3　律令制度	a：中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 b：天智朝から持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 c：中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

		4 奈良時代の政治 5 天平文化	a: 平城京における律令体制の整備について、遣唐使や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 b: 国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察している。 c: 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
2学期	第1章 第4章 古代の国家・社会の変容	1 律令体制再編期の政治と社会	a: 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目し、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 b: 蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、藤原北家の台頭、地方の土地支配体制動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c: 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
		2 摂関政治の成立と支配体制の転換	a: 藤原北家が権力を掌握する過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b: 摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 c: 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
		3 国風文化	a:大陸文化の定着を前提に、平安時代はより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 b:浄土教の出現による浄土の信仰の変容、国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 c:平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第2章　第1章　荘園公領制の成立と院政	荘園と院政	a:地方の勢力の成長と影響に着目し、律令制度の実態や地方における開発、治安、荘園の発達などについて、特色や変容を理解している。 b: 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c: 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
3学期	第2章　第2章　中世の国家・社会の展開	1 鎌倉幕府の成立と朝廷	a: 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b: 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 c: 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
		2 中世に生きる人々	a: 鎌倉時代の生産発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義を理解している。 b: 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 c: 公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
		3 蒙古襲来と幕府の衰退	a:宋・元との交流に着目、元寇の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 b:蒙古襲来が日本の社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 宋・元との交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

		4 鎌倉文化	a:公武関係の変化や大陸との交流などに着目、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、大陸との交流を多面的・多角的に考察している。 c:鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究している。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
	第2章 第3章 中世の国家・社会の変容	1 南北朝の動乱 2 室町幕府の政治と外交	a:鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 b:南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り
		3 室町社会の展開と応仁の乱	a:諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 b:自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り

※令和４年度以降入学生用

		4 室町文化	a:経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 b:室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c:室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期テスト ノート	定期テスト ノート レポート	学習状況 レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度